

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高森町立高森中央小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 個別と協働が同時進行する学習過程への転換

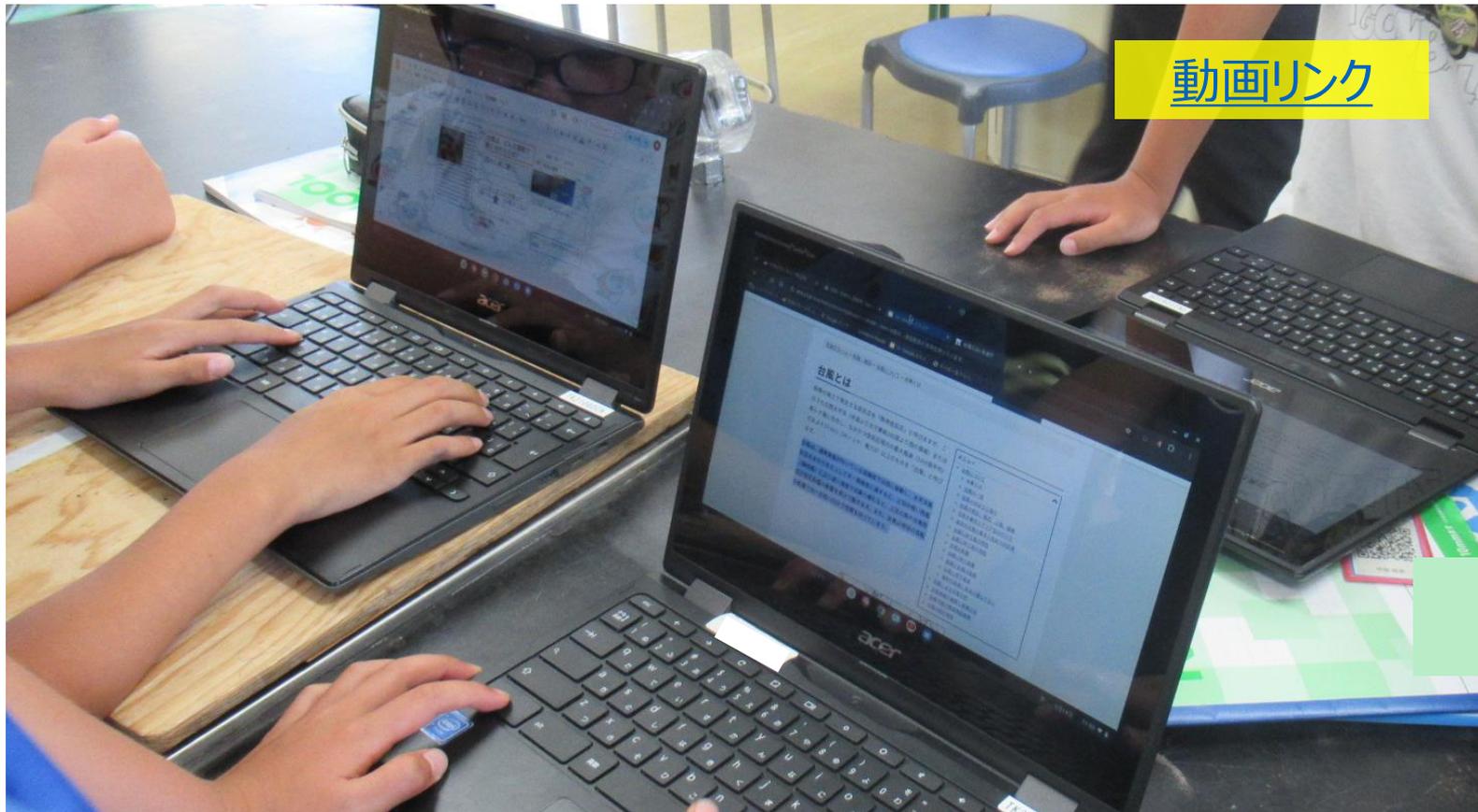


これまでの実践で多かった個別→協働という流れから、児童が個別に考えを深める時間と、グループで意見を出し合う時間を同時に行うような、より柔軟な学習スタイルを導入しました。その結果、グループで話し合いをする中で、自分の考えが変わる経験をする子どもが増え、その都度、自分のノートに新たな気づきを書き加えたり、考えを修正したりする姿が見られるようになりました。また、話し合う相手を自由に選ぶことや、友達のノートを参考にしながら学習を進めることも可能になったため、1人1台端末とクラウドを活用した学習環境との相性が良いと感じています。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高森町立高森中央小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 多様な資料やツールを使用する学習経験の積み上げ

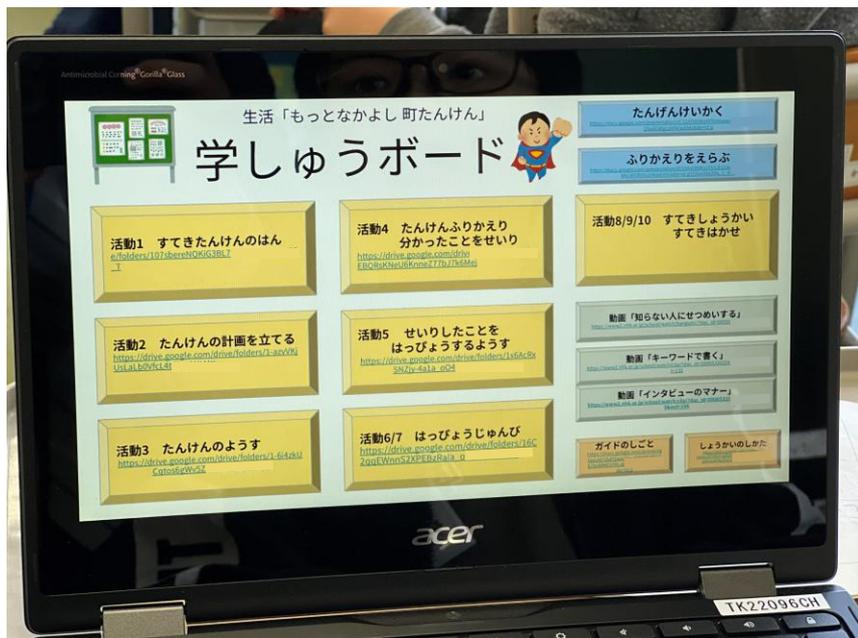


低学年の頃から、クラウドに学習の資料を保存したり、クラウド上で文章を書いたり、発表をしたりと、さまざまな方法で学んだことを表現する活動を行ってきました。こうした経験を重ねることで、高学年になってからは、たくさんの資料やツールの中から、そのとき、その場に合わせて、自分に合うものを選んで使いこなすことができるようになっていきます。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高森町立高森中央小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 動画教材を活用しやすくする工夫と積極的なオンライン授業



教材を集約した学習ボード



Google Meet で専門家に質問

教師が様々な動画教材を1枚のデジタルシートに集約し、児童が自由に使えるように工夫しました。これにより、児童は、自分のペースで繰り返し動画を見たり、分からないところを何度も確認したりすることができるようになりました。

さらに、Google Meetを活用し、地域で活躍されている方や、伝統工芸の職人さんなど、様々な分野の専門家の方々をオンラインで教室に招きました。児童は、実際にその方々から話を聞いたり、質問したりすることで、教科書だけでは学べない生きた知識や経験に触れることができました。特に、生活科や社会科、高森ふるさと学の授業では、地域の人々との交流を通して、学習意欲が向上しました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

高森町立高森中央小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 Google Classroom と Google Chat を活用した職員間連絡の効率化



Google Classroomのストリーム機能を、職員間の連絡ツールとして定着させました。ストリームに投稿された情報は、職員全員の端末やスマートフォンに通知されるため、重要な情報を見逃しにくくなりました。また、出張中の連絡には、Google Chatを活用することで、場所や時間にとらわれず、スムーズな連絡が可能になりました。これにより、電話でのやり取りが減り、業務効率が向上するとともに、働き方改革にも貢献しています。さらに、行事の写真をストリームに共有することで、リアルタイムで情報を共有し、教職員間の連携を深めています。